

社長の経営哲学の構築にお役立ちする

経営者への活きた言葉

税理士法人 優和

TEL 03-3455-6666

FAX 03-3455-7777

経営者への活きた言葉

会社の目的は利益ではなく「社員の幸せ」 塚越 寛(伊那食品工業最高顧問)

- 皆様は会社の目的を何だと捉えていますか。「利益」と答える方は多いですが、私はまず社員を幸せにすることだと考えてきました。社員の幸せをトコトン突き詰めると、経営者が何も言わなくても社員は会社のために尽くそうと一生懸命になってくれます。そんな彼らの積み重ねの結果、会社は成長するのです。
- 敷地内の枯れ葉掃除も、私がやれと言ったわけではありません。社員がいつしか声を掛け合い、朝、早く来て掃除をしてくれるようになりました。敷地内にはたくさんの木々がありますから、簡単な仕事ではありません。でもそれを協力しながら進めることで、部門の垣根を超えたコミュニケーションが取れると楽しみながらやる社員が増えています。
- 目的が明確なので経営の判断にブレがありません。社員が必要だと思う設備投資には耳を傾け、毎年、海外と国内を交互に実施する社員旅行にも資金を提供してきました。人工知能(AI)、効率化、生産性…。それしか頭のない経営者の下で人は幸せになれるのでしょうか。次世代への備えは必要ですが、再び基本に立ち返り、会社の目的について考えてみる時が来ているように感じます。

(参考:「日経ビジネス」2024年9月23日号)

人事・労務について

IT人材獲得合戦激烈

- 慢性的な人手不足が叫ばれるIT業界。DXを推進できるコンサルティング人材の獲得競争が厳しさを増している。一方、50才以上で難しい案件をさばけるベテランの需要も急増中だ。NECは、戦略コンサルティング人材を強化。社内研修や外部人材の登用により、2025年度に2024年度比300人増の1000人にする計画。うち200人はAI人材とする予定だ。
- 富士通はコンサルティングスキルを有する人材を、25年度までに現状の2000人から1万人に増員する。ビジネスコンサルタントを600人から3000人に、テクノロジーコンサルタントを1400人から7000人に拡大する。リスキリングで6000人、採用で3000人、企業買収で1000人を充当する予定。日立製作所は買収した米グローバルロジックや、子会社の日立コンサルティングでコンサル機能を強化している。(参考:「週刊ダイヤモンド」2024年9月28日号)

経営者のための危機管理

悪質なM&Aは「ゆるさない」(中企庁が指針)

- 中小企業のM&A(合併・買収)をめぐるトラブルが多発していることを受けて、中小企業庁は8月30日、中小M&Aガイドライン(指針)の改訂版を公表した。次々と買収した会社から預金を引き出しては行方をくらます詐欺的なM&Aを繰り返したルシアンホールディングス(HD)の事件でも、経営者保証が移行されないことで旧オーナーが債務を抱えたままになっている。こうしたトラブルを防止するため、仲介会社に最終契約時における移行や解除の調整を義務づけた。
- ただ業界内には改定指針の実効性を不安視する見方も強い。特定事業者リストの運用を始めるM&A仲介協会の会員数も100社を超えた程度で、税理士法人などを含めると3000程度ある仲介事業者の一部にすぎない。無登録や非会員事業者の規律付けは引き続き課題として残る。

(参考:「週刊東洋経済」2024年9月14日号)

古典に学ぶ

私たちの日常は修行そのものである。

- その一方で、菩薩という言葉は、また別の意味を持っています。「悟りを目指して修行するものすべて」を菩薩と呼ぶのです。
- つまり、観音菩薩や地藏菩薩だけでなく、この世で修行中の身である私たちもまた、菩薩であるというわけです。私たちの日常が修行そのものであることを否定する人はいないでしょう。

(参考:名取芳彦監修「空海 道を照らす言葉」:河出書房新社)